

No.13 別紙

1 活動名 オーガニック給食フォーラム 市民発オーガニック給食の進め方 キーパーソンとつながろう

2 研修の目的

(1) 本市における課題

学校給食センターの再整備方針が検討中である。成長期の子どもたちが9年間食べる学校給食が子どもたちの育ちを支え、食育となる。ソフト面ハード面ともに、一步先行く学校給食施設が求められる。

(2) 研修の必要性

有機農業、有機学校給食は、農業と食育、学校教育、こどもの育ちを考えるときにもっとも重要なテーマである。文科省、農水省、厚労省ともに進めようとしている。この取り組みを、松本市が率先して実施することが必要である。

(3) 研修項目 研修内容に同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和4年3月14日（月）

(2) 会場 オンライン

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

主催 学校給食をオーガニックに！フォーラム実行委員会

第一部「セミナー 実践者から伝えたい！」 第二部「ラウンドテーブル」

(5) 成果・所感等

2021年に農林水産省が発表した「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに全農地の25%を有機農地にする目標が打ち出された。有機農家の確実な販路であり、新規就農や有機農業への転換の大きなインセンティブとして注目されているのが学校給食。学校給食にまつわる地域ごとに異なる事情の中、オーガニック給食の100%導入は難しいが「できるところからはじめよう」の精神で進めている場所が全国に存在する。生産者、保護者、流通、JA、自治体、教育委員会など、学校給食をよくしたい！と考える人々がつながって、大きなムーブメントになるだろう。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 参加費 1000円